

第 33 号

発行：平成 28 年 4 月

松浦武四郎記念館友の会

会員数：140 名(平成 28 年 3 月末現在)

(家族会員=12 名、個人会員=128 名)

松浦武四郎記念館友の会



友の会だより

友の会事務局：松阪市小野江町 383

松浦武四郎記念館内

連絡先：電話 0598-56-6847

Fax 0598-56-7328

発行責任者：飯田 秀

新年度の挨拶

会長 飯田 秀



新年度を迎えて、一言ご挨拶を申し上げます。

「松浦武四郎記念館友の会」設立後、早や8年が経ち、「友の会だより」及び「活動写真」を松阪市ホームページを通じて全国に情報発信をして、多くの方々に「松浦武四郎記念館友の会」の存在を知って頂いたことは、有難く嬉しく思う次第です。発足以来「一味同心」に心がけ、これからも「報連相」(報告・連絡・相談)を大切に何事にも取り組んでいきたいと思っています。

また、武四郎の足跡を訪ね奉納した神鏡の拝観も引き続き取り組み、今年は奈良県吉野の金峰山寺蔵王堂・吉野山ビジターセンター・威徳天満宮・吉水神社などへ研修バス旅行を計画しています。

私達の念願であった武四郎歌碑については、一昨年に松浦武四郎記念館敷地内へ三重県下で初めて建立できました。この歌碑により武四郎さんを顕彰するものが出来、その歌碑の拓本を色んな場所で友の会の活動展示と併せて展示することで、武四郎の情報発信に繋がっていると思います。

エゾヤマザクラの看板が傷んできたので、今回役員になられた松浦さんに昨年末に原木から加工して作り直して頂きました。このことを地元の子供たちに紹介したところ、今まで以上に関心を持っていただけたことは大変良かったと思っています。

今後も会員交流懇談会・他団体との交流会をふまえ、「熟慮断行」をモットーに友の会活動の向上に繋がればと思いますので、ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

総会の予定

5月8日(日)の講座の後(11時頃から)平成28年度総会を開催します。
多くの方のご出席をお願い致します。

「武四郎まつり」が賑やかに開催されました！！

平成28年2月28日(日)に第21回の武四郎まつりが開催され、好天に恵まれ松阪市内外から約5,500名の方が来られました。

中村文恵実行委員長の挨拶に始まり、記念館前の特設舞台では多くの催しが行われました。まつりの目玉の一つであるアイヌ古式舞踊は北海道平取(びらとり)町の平取アイヌ文化保存会の方々による踊りが披露されました。

友の会としては、アイヌ文化体験コーナー(ムックリの演奏、地図のパネル合わせ)、記念館入口で友の会活動のパネル展示、記念館内で書籍の販売、など会員の協力により行いました。

お手伝いいただいた方に厚く御礼申し上げます。



記念館入口で書籍の販売

昨年は、NHKの「歴史秘話ヒストリア」・テレビ愛知の「お宝照英!」、また最近では2月15日に三重テレビの「ええじゃないか!」等も武四郎を話題として取り上げられたこともあり、来場者の中に『テレビで見て・・・』や『北海道に旅行した時に、現地で武四郎の事をお聞きして・・・』と、従来にないきっかけで来られた方も多くいました。

更に、中日新聞こどもウィークリー(平成28年2月27日付け)で、武四郎の記事(この頁の下)が掲載されました。



開会挨拶をする中村文恵実行委員長



平取アイヌ文化保存会の方々によるアイヌ古式舞踊



子どもたちによる「しょんがい音頭と踊り」



活動のパネル展示(記念館入口)



武四郎が北海道(当時の蝦夷地)で調査したのか、何故できたのかが判り易く記載されています。また、小野江小学校6年生のコメントも新鮮で、判り易いです。



アイヌ文化体験コーナー

中日新聞こどもウィークリー
平成28年2月27日付け

友の会主催の武四郎講座実施

一昨年から始まった株式会社 坂田墨珠堂の方による第3回目の講座は、2月14日に代表取締役の坂田さと子先生に『掛軸・卷子(かんす)の保存修理と取扱い』と題してお話をいただきました。

装幀(そうこう)分野の文化財修理は、「装幀技術」「文化財修理技術」「修復倫理」と基本的なことに始まり、掛軸や卷子の構造等詳しく説明いただきました。

取扱いについては、各軸を掛ける時・しまう時・日頃の管理、卷子は巻き方などをお聞きし、修理については、厳選した和紙・接着剤(糊)の原料や製法が重要で特に産地と生産者に拘っている様子が窺えました。

また、100年先に修理することを考えておられると強調されました。

また、第一回目に講師をして頂いた坂田雅之先生は、一般社団法人 国宝修理装幀師連盟の理事長をされており、会社上げて業界の発展に尽くされています。

※装幀とは、書画を表装することで、「潢」は紙を染める意。

※一般社団法人 国宝修理装幀師連盟の目的は、国宝・文化財に関する修理装幀技術の向上並びに、これらに付帯する知識の交換、会員相互及び内外の関連工房との連携協力等を行うことにより、修理装幀技術の進歩普及を図り、もってわが国の技術の発展に寄与することとしています。



講義される坂田先生

松浦武四郎記念館友の会 主催 武四郎講座
演題 掛軸と卷子の修理と取扱い
講師 坂田墨珠堂代表取締役 坂田さと子先生

たけちゃんまつりで「武四郎紙芝居」実施！！

12月19日に小野江小学校で出前イベント「たけちゃんまつり」が開催され体育館2階では友の会として、5年生を対象に「武四郎紙芝居」を行いました。

地元の偉人である関係で、小野江小学校6年生に「武四郎守り隊」の称号が与えられ、以前から全校児童が武四郎の学習に取り組み、一昨年は5年生対象に「武四郎の副読本」が発行されたことに加え、紙芝居を見て武四郎への関心が更に深まったようです。

※出前イベント「たけちゃんまつり」とは、松浦武四郎の誕生地が旧三雲町管内であることから、管内の小学校に於いて武四郎に関する催しを順次行っているものです。



紙芝居をする高瀬さん

いつきのみや梅まつりで「武四郎紙芝居」実施！！

3月6日に斎宮歴史博物館南側の梅林公園周辺(通称：ふるさと広場)にて、いつきのみや梅まつりが開催され、3000人近くの来場者がありました。

広場では斎王に関する催しが地元の方達により行われました。開会式でも松浦武四郎記念館友の会が参加していることを紹介されました。友の会としては、「武四郎紙芝居」と「友の会の活動展示」を行いました。



友の会活動のパネル展示

※齋宮歴史博物館友の会と当友の会とは友好関係にあり、24年5月には齋宮歴史博物館友の会の
大川会長に講演していただいたり、交流会をしたりしています。その関係で「いつきのみや
梅まつり」にも3年前から参加させていただいています。



子供たちによる「めい姫ダンス」
近隣のゆるきゃらたちも参加！！



紙芝居の状況

【記念館よりのお知らせ】

☆武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

5月8日(日)10時～11時

テーマ：続・武四郎と伊勢神宮

講師：山本 命(松浦武四郎記念館 主任学芸員)

6月12日(日)10時～12時

テーマ：刀剣研磨の実演と体験

講師：石原正博氏(刀剣研師)

※実際に日本刀の重さを感じていただいたり、刀を研ぐ体験ができます！

7月10日(日)10時～11時

テーマ：武四郎と最上徳内

講師：山本 命(松浦武四郎記念館 主任学芸員)

☆企画展示のご案内

◆テーマ：武四郎をめぐる志士たち

～ 5月15日(日)

幕末に尊王攘夷思想を抱き、吉田松陰をはじめ多くの志士たちと交友した武四郎の姿を紹介します。

◆テーマ：武四郎と和歌

5月17日(火) ～ 7月18日(月)

和歌を愛し、蝦夷地調査でも多くの和歌を詠んだ武四郎の姿を紹介します。

◆テーマ：武四郎の蝦夷地調査

7月20日(水) ～ 9月19日(月)

幕末に六度に及ぶ蝦夷地探査を行った武四郎の姿を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

年会費の納入についてのお願い

新年度が始まりました。平成28年度の年会費(個人会員500円、家族会員1000円)を、
役員又は記念館事務局へ納入して頂くようお願いいたします。

友の会入会のお誘い(武四郎を詳しく知りたい方へ入会をお勧めします。)

友の会は「松浦武四郎」について講座、バスによる研修旅行、啓発展示、「友の会だより」
で情報発信等を行っています。入会金は不要で、年会費は個人会員500円、家族会員1000円
です。詳細は、役員又は記念館事務局へ問い合わせをお願いいたします。

**今年も桜の季節になりました。記念館北側広場の「エノヤマザクラ」は4月中旬に見頃を迎えます。
皆様も機会を作って是非ご覧ください！！**